



札私幼

《編集》
札私幼広報委員会

《発行責任者》
一般社団法人
札幌市私立幼稚園連合会
敷 淳 一

札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10
札幌市生涯学習総合センター内
☎ 671-3590 FAX 671-3591

第167号

令和2年
12月22日
発行

令和2年度・札私幼就職フェア ～ミライノトビラ2020～

令和2年9月22日(月・祝)／ホテル札幌ガーデンパレスにて開催

例年であれば通常通り【就職フェア】を開催する予定でしたが、2月に【新型コロナウイルス感染症】が猛威を振るい気づけば【緊急事態宣言】が発令され、令和2年は異例の幕開けとなり4月そして5月と予想もつかない生活の変化に正直【就職フェア】の開催など考える余裕がありませんでした。しかしながら人材確保事業のひとつとして【就職フェア】を捉えた時に開催しないのではなく何か別の方法はないのか？養成校側はどのように考えているのか？様々な点を少しでも解決すべく正副会長と広報で養成校の先生との意見交換会を開催致しました。そこでの話し合いの中で、やはり就職フェアに参加することで学生の就職に対する意識の持ち方が変わることや実際に園側と話をすることで働くことへのミスマッチが軽減されるなどの利点もあることから、対策を考え開催する方向で話し合いを終えました。開催が決まったとなればどのような対策が必要で今までとは形式も変えての開催にするには何に重点を置かなど、広報委員で何度も話し合いを重ね当日を迎えることになりました。

開催するにあたり養成校側の要望のひとつでもあった極力不特定多数の人と触れないようにする点を考慮し、養成校ごとの来場として卒業学年のみの参加としましたが、思っていたよりも来場参加希望の養成校が多く、やはり学生側も何かしら情報が欲しいのが分かりました。

当日は【消毒】【検温】【マスク着用】【会場内のソーシャルディスタンス】【会場増設】をしながらの開催でした。【配布物禁止】【パネル装飾なし】と例年とは違いブース参加法人(園)の皆様にも多大なご理解とご協力いただきました。46法人70園が参加。15校238名の学生さんが足を運んでくれました。ソーシャルディスタンスのため何となくガラとした空間でしたが、来場者数も例年より多く、賑わいを感じる時間帯もありました。



こうして開催出来たのもブース参加していただいた会員園の皆様、学生さんへの周知や来場していただいた養成校の先生方そしてこのような状況の中でもお手伝いに参加していただいた振興委員の先生方、皆様のご理解とご協力があったからこそその開催だと広報委員一同大変感謝しております。

本当にありがとうございました。今回残念ながら参加を見送られた会員園の皆様もアンケートにご協力いただきありがとうございました。

そして会場に足を運ぶことの出来ない学生さんも多くいる点を踏まえ、札私幼HPの【就職サイト】からも札幌の私立幼稚園・認定こども園の採用内容が見られるようにもしました。今後もこのサイトもよりよく活用出来るよう検討を進めていきたいと考えております。

コロナの終息は見えませんが次年度も【就職フェア】は開催の方向で考えております。令和3年9月20日(月・祝)にホテル札幌ガーデンパレスで開催する予定です。



令和2年度 就職フェア 会員園アンケートの結果

＜就職フェアにブース・求人票で参加した法人（園）用アンケート＞

回答 43法人（園） 類似した回答はまとめて記載しています。

★今回は何回目の参加になりますか？

- ・ 7回目：30.2% ・ 初めて：16.3% ・ 2回目：14%
- ・ 3回目：11.6% ・ 4回目：11.6% ・ 5回目：7%
- ・ 6回目：7%

★どのような形で札私幼の就職フェアに参加しましたか？

- ・ ブース参加：83.7% ・ 求人情報の掲載：65.1%

★ブースには何人の学生が来ましたか？

- ・ 10～19人：66.6% ・ 20～29人：11.1% ・ 1～9人：8.3%
- ・ 30～39人：8.3% ・ 40人以上：5.5%

★今回の就職フェアへの参加で、採用に関してどんな影響がありましたか？

- ・ 学生が見学に来た（見学を希望した）：74.4%
- ・ 採用に繋がりそうな学生がいた：62.8%
- ・ 学生からの連絡があった：44.2%
- ・ とくに影響はなかった：18.6%

★今回、就職フェアへ参加した理由は？

- ・ 採用に向けて：76.1% ・ 新卒採用のため：23.8%
- ・ 直接話をして園のことを知ってもらいたい：23.8%

★参加してよかった点

- ・ たくさんの学生と話をする機会になった：50%
- ・ 園見学や採用に結びついた：40%
- ・ 園を知ってもらえた：20%
- ・ 学生の心配事や要望などを知ることができた：12.5%
- ・ 就職フェアに関心が持てた：5%

★参加して改善すべき点

- ・ 10分間の限られた時間のなかでしっかり説明できるか：33.3%
- ・ 10分間の制限時間の短さ・ルール徹底の難しさ：33.3%
- ・ 来場者へのサイト周知（来場者が求人情報を知らない）：13.3%
- ・ 資料配布ができなかったため、記憶に残る工夫が必要：6.7%
- ・ 掲示物を許可してほしかった：6.7%
- ・ 次回につながるアプローチ：6.7%
- ・ フェア当日までにオンライン等で自園のPRが必要：6.7%
- ・ Wi-Fiが使えると良かった：6.7%
- ・ 例年の受付票があると良かった：6.7%
- ・ ブース参加者分の椅子があると良かった：6.7%

★感染症対策についてのご意見

- ・ 各種感染症対策があって良かった：33.3%
- ・ 資料配布ができるとなお良かった：16.7%
- ・ 養成校ごとの時間区分が良かった：13.3%
- ・ パネル・配布物なし等、準備の負担が少なくてよかった：10%
- ・ パネルが欲しかった（近隣ブースとの音や資料の干渉）：10%
- ・ 養成校ごとの時間区分、10分間の区切りはもう少し長いほうが良かった：10%
- ・ 10分ごとの区切りは話を打ち切るべきか迷った：6.7%
- ・ たくさんの学生が来た際に名前を聞き取るのが大変だった：3.3%
- ・ ブースに人が来ない時間帯は空白の時間になってしまう：3.3%

★求人情報掲載についてのご意見

- ・ webで事前に掲載するのは良かった（時間の有効活用にもなった）：50%
- ・ 記載方法に各園のブレがあり統一した方がよい：12.5%
- ・ サイトの周知が不足している：12.5%
- ・ 法人単位で求人票が作成できるとよい：6.3%
- ・ 他の求人情報（ハローワーク等）にリンクできるとよい：6.3%
- ・ 求人情報の掲載方法が分からなかった：6.3%
- ・ 区ごとの掲載があるとよい：6.3%

・ 各園の情報の更新日が掲載されるとよい：6.3%

・ 情報が古くならないように各園が報告するとよい：6.3%

★今回の就職フェア全体を通してのご意見

- ・ 適切な時期、実施方法だった：39.4%
- ・ もう少し早い時期の開催が良い：6.1%
- ・ 平日の夕方などの開催が良い：6.1%
- ・ 養成校ごとの時間区切りが良かった：6.1%
- ・ 養成校ごとの違いが見え、養成校との連携が重要だと思った：6.1%
- ・ 卒業年次以外の学生にも参加してほしい：3%
- ・ 2階と4階で別フロアだったが、行き来しやすい設営が良い：3%
- ・ フェアのことを養成校から伝えられていない学生（実習生）がいた。養成校側にさらに協力してもらっては：3%
- ・ 例年よりも落ち着いた雰囲気の良い：3%
- ・ 10分間のカウントは各ブースで説明開始タイミングが異なるので、経過時間のアナウンスにしたら良い：3%
- ・ 掲示・装飾や配布物が制限されたことで、情報を伝える場に特化できた：3%
- ・ フェア当日、会場でオンライン希望受付などであるとありがたい：3%
- ・ 年2回開催しては：3%
- ・ 私服で良いことを伝えては（皆おなじに見える）：3%
- ・ 事前の連絡・説明が細やかで、当日困ることがなかった：3%

＜就職フェアに不参加の法人（園）用アンケート＞

回答 28法人（園） 類似した回答はまとめて記載しています。

★就職フェアに参加しなかった理由をお聞かせください。

- ・ 日程が合わなかった：42.9%
- ・ 新型コロナの感染予防のため：42.9%
- ・ 求人予定がない：35.7%
- ・ フェアに対応できる教職員がいない：28.6%
- ・ 余裕がなかった・準備が不十分だった：7.1%
- ・ 必要性・メリットを感じられない：3.6%
- ・ 基本給が低いいため選ばれない：3.6%
- ・ 今回はブースでの説明があまりできないと感じた：3.6%
- ・ 附属のため求人は公募しない：3.6%
- ・ 10年以上求人がなかった：3.6%

★この就職フェアについてご意見や思いなどがありましたら是非ご記入ください。

- ・ 求人予定がなく、まだフェアに参加していない。求人が出た時に改めて検討したい。
- ・ 次年度の参加を検討している。（新型コロナウイルス等の感染症の状況にもよる）
- ・ 今後もブース後ろのパネルはなくても良いのでは。
- ・ 養成校の教員（就職担当以外）との連携を見直す必要を感じる。新卒のほか、既卒者・復職者への対応をこれまで以上に注力すると思う。
- ・ 今回は参加していないが、幼稚園側参加者の態度・マナー・服装・声掛け・アピールの仕方に問題があるように感じる。他業種の就職セミナー等を見て、札私幼のフェアと比較検討してはどうか。
- ・ フェアの参加者が増加したのは大変良かった。
- ・ 就職あっせん業者側でも、登録者が春から多く、10月がピークという話も。
- ・ 学生は色々な幼稚園を見たい・知りたいということが結構あり、フェアでも多くの園を回りたいようなので、工夫があればと思う。（今回はコロナの件で無理と思う）
- ・ 学生が知りたい項目を作成し、各園回答したものが学生に配布され、その確認のためにフェアで各園を回るなど。
- ・ 園の形態による働き方の違いが分からずせっかく就職しても早期退職になっている者があるとか。（本来は学校で指導すべきだが、学校も分かっているのでは。）
- ・ フェアの内容を聞き、工夫して人材確保へ尽力されている様子が伝わった。学生にとっても選択肢が広がり、進路を決める手掛かりになっているのでは。

令和2年度 就職フェア 養成校アンケートの結果

今回の就職フェアについて養成校の先生方にもご協力いただき、17校からアンケート形式でご回答いただきました。お忙しい中ありがとうございました。（類似した回答はまとめて記載しています。）

★今回この就職フェアに参加しましたか？

参加：10校、不参加：7校

★参加しなかった理由は？

- ・実習中だったため
- ・実習の時期が後ろにすれてフェアと重なったため。
- ・実習の直後だったため。
- ・札幌への往来について、実習生・園双方に抵抗感があった。

★開催時期について（毎年、9月下旬に実施しています）

- ・ちょうどよい・適切。 ・実習日程とかぶる。
- ・もう少し早い方がよい。

★養成校ごとに時間を区切り、卒業学年限定など規制を設けて開催したことについて

- ・適切な対応だった。 ・卒業学年のみでは対象が少ない。
- ・面談方式は厳重な注意が必要。
- ・時間帯 1 コマにつき 2 時間くらい持たせた方がよかったかも。

★この就職フェアは学生さんの就職活動に活用されていますか？

- はい：14校、いいえ：2校
- ・各園の情報を得るよい機会。
- ・このフェアをきっかけに就職活動意欲が高まる。
- ・アプローチしたい園が絞られていくこと。

★学生さんの参加が難しい点や理由がありましたら教えてください。

- ・学生が希望する求人の範囲が広いため、（幼稚園・認定こども園では）マッチする求人が少ない。
- ・参加申込時点（7月）では札幌への往来等、判断が難しかった。
- ・実習日程とかぶる、実習直前であるため参加が難しい。

★今年度の就職フェアに参加した学生さんの反応は？

- ・直接、複数の園の先生から話を伺えて、多くの情報を得られ、参考になった。
- ・学生よりブース数が多く、気になっている園に気軽に行ける雰囲気では

なかった。（慣れてくると積極的に行けた。）

- ・園見学のきっかけになった。
- ・新型コロナの影響でなかなか就職活動ができていなかったので参加できてよかった。

★今の学生さんが幼稚園・認定こども園への就職に関し、どのようなことを気にしているのか。また、どのようなことを基準に選んでいるのか。

- ・給与・待遇（奨学金の返済が必要な学生も多い）：10校
- ・福利厚生・働きやすさ・先輩によるサポート体制：7校
- ・園の雰囲気（見学時の雰囲気、職員間の雰囲気）：6校
- ・教育保育内容・方針など：6校
- ・人間関係：4校
- ・勤務地・家からの通いやすさ：4校
- ・勤務時間・休日・残業の有無：3校

★札幌私幼主催の就職フェアに対してのご意見やご要望

- ・ブース方式ではなく、プレゼン方式にして、その園に興味のある学生が一聴衆として気軽に参加できる時間があると参加機会が広がるのでは。
- ・今後の状況に応じて、webやZoomでの説明会等も検討してほしい。
- ・出展園数の増加（希望地域の園の出展がなかったという学生もいた）。
- ・全学年を対象にしてくれるとありがたい。
- ・大変良い情報提供の場だった。
- ・2回開催してくれるとありがたい。
- ・保育所と幼稚園・認定こども園の垣根のない就職説明会があると良い。
- ・webでの求人票掲載等、学生にとって非常に参考になっている。
- ・幼稚園の先生になる魅力、仕事、実習前に身につけたいことなどのコーナー



令和2年度 就職フェア 来場者アンケートより



今回は出口で直接アンケートをお願いする形に専念した結果、回答総数：232（回答率97%）と高い回収率となりました。

開催日程やフェアの評価については9割以上が「良い」と回答し、「必要な情報を入手できた」方も9割以上に上りました。再度参加したい方も9割以

上に上りました。

「新型コロナウイルスの影響で、就職に関してどんなことで困ったり不安に感じたか」という問いについては、「特になし」が4割弱ある一方、「園見学できるか不安」「実習と就活時期が重なること」「就活の不足・遅れ」「先生に相談する機会がない」といった声があり、新型コロナウイルスの影響が就職活動に影を落としていると感じます。

フェア全体については、「様々な園の情報を得られた」「優しく丁寧な雰囲気等がとても良かった」「就活に前向きになれた」といった声から、参加ブースの方々の優しさが来場者に伝わっているように思います。一方で、資料等の配布禁止や1ブース10分程という時間の短さ、1時間しかいられないという時間帯の短さなどについての声が少なかったことや、来場者の方々への就職フェアサイトの周知については、今後の課題となりました。

様々な活動が制限される中、対面で話し、園の雰囲気を掴めるという貴重な機会を、来場者の皆様に提供することができたと言えます。

令和2年度 第1回特別支援教育研修会 9月24日(木)



今年度第1回目の特別支援教育研修会が、9月24日(木)18時からかでの2・7 かでのホールで行われました。今回の参加者は178名に上り、新型コロナウイルスの流行によって、外部研修の機会が少ない事から、このような研修の機会を心待ちに

していた先生も多かったのではないかと感じました。

感染対策として、参加者には事前の検温、入場時の消毒、参加者のマスク着用をお願いし、参加定員を収容定員の1/2に制限した上で、講演途中の換気、終了後の退場方法等、出来る限りの感染対策を行っての開催となりました。

例年、1回目の特別支援教育研修会では札幌市特別支援学級設置学校長協会(札特協)のご協力を得て、各区1校ずつ小学校の特別支援学級の公開授業を行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、講師に札幌市特別支援学級・通級指導教室 設置学校長協会理事長であり、札幌市立西岡南小学校 校長の佐藤正行先生と同小学校 特別支援学級教諭の三井美香先生を講師にお招きして、「小学校における支援が必要な子ども・保護者への関わりの実践」というテーマで講演をして頂きました。

2時間の講演のうち、最初の1時間は佐藤先生が①特別支援教育の現状②特別支援教育の教育課程③校内学級の支援委員会の運営④支援の必要な子ども・保護者への対応について、具体的な数字を示しながら教えてくださいました。

現在、特別支援学級に通う児童生徒は10年前の2倍以上に増え、通常学級に在籍する児童生徒の約6%に特別な支援が必要というデータもあるそうです。そのような現状を踏まえ札幌市では、198校中190校(96%)に特別支援学級が設置されています。相談機関も充実し、実際に教育相談件数も増加傾向にあります。

札幌市の特別支援学級種別は知的障がい、自閉症・情緒障がい、病虚弱等の3種類に分かれています。このような学級の複数設置をしている学校も多く、ま

た、障がい重複している子どもも多くいます。そのような状況下で、知的障がいの有無によって教育課程の取り扱いがどう違うのかという事や、指導の実践についての概要を説明して頂きました。

また通常の学級に在籍する障がいのある児童生徒の指導をどのように行っているのか、校内学級の支援委員会の取組や関係機関・保護者との連携について事例も交えながらお話しして頂き、小学校の取り組みについて具体的に知る事が出来ました。

後半の1時間は、三井先生から①特別支援学級の学習と生活②個に応じた支援の実践について、授業の動画や写真を使って分かりやすくお話しして頂きました。

特別支援学級と通常学級の大きな違いは、一人ひとりの到達目標を設定しているところにあります。特別支援学級の担任の先生方は、通常の教育課程を組み直して、その子の発達に応じた学習活動計画を立て、学級の時間割を作成しています。個に必要な教育と学級全体の教育のすり合わせの難しさや、一人ひとりの子どもの発達の段階を見取って到達目標を設定する事の難しさ等、現場でご苦労されている事についてもお話しして頂きましたが、三井先生が子どもたちの様子や指導の実践についてとても楽しそうに伝える姿に、受講した先生方も実際に授業を参観しているかのようにイメージする事ができたのではないかと思います。最後には、事前アンケートを踏まえて小学校では、指導要録を活用している事や幼保小連絡会をはじめとする、連携の大切さについてもお話しして頂きました。佐藤先生、三井先生ともに小学校時代のみならず、将来を見据えた支援が大切だとおっしゃっていました。私たち幼稚園・認定こども園で受け入れている支援の必要なお子さんに対しても、小学校入学をゴールととらえるのではなく、“その子のために何が必要なのか”という事を長いスパンで考えた支援の重要性について強く考えさせられた2時間でした。



令和2年度 第2回特別支援教育研修会 10月19日(月)



令和2年度「第2回特別支援教育研修会」が10月19日(月)、かでの2・7にて行われました。講師には、香川大学准教授 松井剛太先生と北海道大学准教授 川田学先生をお招きし、『特別な配慮を必要とする子どもが輝くクラス運営』というテーマのもと、松井先生にはリモートでのご講演、川田先生には会場にてお話を頂きました。

今回は、「すべての子どもが生き生きと過ごす園とは? インクルージョンを進める時に考えたい空気。子ども主体とは何か。保育への「参加」をどう捉えるのか。保護者支援、小学校との連携で考えておきたいこと。特別な配慮を必要とする子どもが輝くようなクラス運営の在り方を考えるきっかけになれば嬉しいです。」との思いで講演頂きました。

前半は、松井先生よりいくつかの事例を基に、支援の必要な子どもたちに対する関わり方や、環境の工夫について具体的に教えて頂きました。その中で、子

どもの声をしっかりと聴きながら、どの子どもに対しても、参加しやすい保育を考えていくことがインクルージョンに繋がっていくのだと分かりました。又、担任、加配の先生だけでなく、園全体での関わり方の統一や、その子についての話し合いをしっかりと行うことが豊かな保育となっていく、ということでした。

後半は、認定こども園ほしおきガーデン星の子幼稚園の長谷川先生、しろいし幼稚園の若林先生から実践事例の発表と講師の先生方からの助言を頂きながら、現場の具体的な内容を見て、学びを深める時間となりました。

全体を通して、数々の事例に基づいたお話であった為、「自分だったら、どんな関わりをしたのだろうか」と考えることが出来ると共に、「支援が必要な子どもたちへの関わり方」と捉えるのではなく、“誰もが過ごしやすい保育環境”を考えていくことが大切であるということに改めて気が付き、保育の見直しをする良いきっかけとなる研修となりました。



令和2年度 札幌市幼稚園初任段階における研修・2年次目研修(夏)

今年度2年目を迎えた先生たちの夏の初任段階研修が、令和2年9月7日(月)・9月8日(火)の2日間に分散して、ちえりあ講堂で行われました。「保育を語ろう! 幼児理解と保育の読み取り」と題され、講師に札私幼研究委員長・大藤学園教務局長の大谷壮史先生を迎え、1日目57名、2日目75名、計132名の先生が参加しました。

3人グループで、保育場面を他者に伝えるワークを通しての研修で、受け取る側に保育の情景や子どもの育ちが伝わるポイントを学びました。

その後、もみじ台幼稚園 佐々木七依園長先生、栄光幼稚園 中田喜子先生のお二人から、実際に保育場面を伝えてもらい、そこにプロの保育者としてどのような視点や読み取りがあるかについて、大谷先生から解説がありました。休憩と換気の後、先の解説を踏まえて、参加者1名が保育場面を伝えるチャレンジが…、すると当初のワークよりも多視点からの伝え方になっ

ていました!

最後に、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿について、保育場面のなかに、どんな姿・要素があてはまるか・不足しているかを分析すること、今後育てていきたい要素を考えていくこと、子どもの姿から、読み取り・関わり・次の保育につなげていくというサイクルを繰り返すことの重要性についてお話がありました。誰かに保育を伝える・語ることが、日々の保育の探求に繋がりますように…。



令和2年度「全体研究委員会 兼 研究委員研修会」

令和2年度 全体研究委員会兼研究委員研修会が9月29日(火)に札幌ガーデンパレス鳳凰の間にて行われ、各区より126名の研究委員の先生方が参加されました。

初めに札私幼研究委員長より、「各区研究委員の役割とは」について共有し、コロナ禍で様々な研修等が中止になる現在ですが、「今はできない」ではなく、「今だからこそトライ」という精神で子ども達の為に邁進していきましょと、今一度研究委員の役割を確認しました。

そして、今回、講師に大阪教育大学より中橋美穂先生をお招きして、「園内研修を活用した保育の質の向上に向けた取り組みについて」～砂場での遊びを切り口にした園内研修とは?～(子ども理解と援助について)というテーマで講演していただきました。

研修の内容を2つのポイントに分けてお話しいただきました。

1. 保育の質向上を目指す園内研修

- 保育の質は世界的にも重視されるようになり、遊び等で培われる子どもの主体性等が、その後の人生の幸福度や社会経済的地位等に繋がるという結果が示されている
- 保育の質の鍵となるのは保育者であることから、保育者の研修や教育は、質向上には不可欠である
- 幼児理解はまず子どもの姿を見ること(何が育っているか)
- 保育を語れること、相互に良い点を評価し補い合う、高い同僚性
- 答えを出そうとせず、一緒に考え、やり取りをすることが向上のポイント
- 考えが凝り固まらないよう、外へ出て更に学んでいく精神

2. 園内研修の取り組み方 砂場での遊びに焦点を当てた園内研修

- 時間…90分～120分 進行役…何かを教える役ではない 雰囲気…率直に意見を言える グループ…「似たタイプ」「経験年数」 テーマ…現在、気になっていること
- 「気づき」を出す＝「意識して見る」ところから、始める
- なぜ砂場? ・どこの園にもある ・地域、園により特色がある
 - ・身体、人間関係、科学や探求・想像など様々な側面の育ちが期待される
- ビデオ(付箋で意見を出し合う)、写真(気づきのワークシートを活用)を用いる
 - ・子どもの様子を実際に見ることで、一人では思いつかないことが学べる
 - ・自園の教育目標等に応じた、援助の方向へ
 - ・自分なりに考えたことを言葉にする経験が必要。

このように、具体的な方法を教えていただき、11月の研修に繋がる予定でしたが、残念ながら中止となりました。しかし、「今だからこそトライしてみよう」という精神で、研究委員を中心に各園での園内研修が発展し、保育の質の向上に繋がることを願っています。



札幌市私立幼稚園振興議員連盟と札私幼総務委員との懇談会

11月26日の札幌市への予算要望に先立ち、11月12日(木)に札幌市私立幼稚園振興議員連盟と札私幼総務委員との懇談会が行われました。札幌市私立幼稚園振興議員連盟からは、三上洋右会長をはじめ7名の議員の方々に出席して頂きました。

丸谷副会長の進行のもと、藪会長より令和3年度予



算要望書の概要説明を行ったあと、意見交換を行いました。予算要望書の内容のみならず、新型コロナウイルスにおける幼稚園・認定こども園の現状について等、私たちが抱える様々な問題について熱心に耳を傾けて頂きました。

札幌市私立幼稚園振興議員連盟

(敬称略)

区	氏名
中央	長内 直也
北	高橋 克朋
東	五十嵐 徳美
白石	佐々木 みつこ
厚別	こじま ゆみ(幹事長)
豊平	三上 洋右(会長)
清田	北村 光一郎
南	三神 英彦
西	村山 拓司(事務局長)
手稲	武市 憲一(顧問)

令和3年度・予算要望活動



今年度も札私幼執行部は、各区の理事の皆様を通じて会員園からのご意見や要望を取りまとめ

【令和3年度・札幌市への予算要望書】を作成し、11月26日(木)に市役所へ

持参し予算要望を行いました。当日は、札幌市私立幼稚園振興議員連盟の皆様同席のもと藪会長そして札私幼総務委員ならびに札私幼P連会長と副会長で市役所へ出向きました。

藪会長から町田副市長へ、加賀谷P連会長から長谷川教育長へそれぞれ要望書を手渡しました。その後、藪会長より要望趣旨を説明。毎年要望している特別支援事業の一園当たりの基準額の単価を専門職としての時給設定に近づけるよう増額を要望。また、年々厳しさを増す人材確保については、本連合会で主催している【就職フェア】今後開催予定の【復職セミナー】等の事業への更なる支援。そして札幌市が実施している人材確保事業がより効果的になるような予算措置や事業内容の検討なども要望。また、P連からは私立幼稚園・認定こども園への補助制度の拡大を含めた要望をしました。町田副市長からは新型コロナウイルスの感染拡大により札幌市も財政が厳しい状況である話など今の状況も伺いました。そのような状況下ではありますが、未来ある札幌の子ども達のために…と要望してまいりました。

この予算要望の結果については改めてお知らせ致し

ます。

予算要望書

札私幼

- ① 特別支援教育事業
- ② 教材教具補助事業
- ③ 新制度に係る事項
- ④ 研修費等助成事業
- ⑤ 人材確保事業(幼稚園教諭・保育教諭)
- ⑥ 災害対策に係る事業

札私幼PTA連合会

- ① 幼児教育、保育の質向上のためのさらなる公費助成
- ② PTA団体助成金



札私幼スイーツ王子のおすすめスイーツ

第1回『いま、フルーツサンドが熱い!』

この号より札私幼の隠れスイーツ王子が『おすすめ』する『札幌のスイーツ』をご紹介しますと思います。新型コロナウイルス感染拡大防止のため『自粛』が続いている札幌ですが、そんなことも考慮し、今回は『テイクアウト専門店』を教えてくださいました。もし、会員園の皆様お時間がありましたら、ぜひ一度ご賞味下さい! 隠れスイーツ王子・・・ご存じの皆様もいるかと思いますが・・・今期より札幌市私立幼稚園連合会・会長に就任した【藪 淳一先生】です!

Majisand (マジサンド)

中央区南2条西1丁目5-9

王子の一言

第13広和ビル1階(狸小路1丁目)

- ① 今年の6月にオープンしたパティシエがつくるフルーツサンドのテイクアウト専門店
- ② 定番のサンド・季節のサンド、合わせて10種類ほどあり【見た目が美しい!】
- ③ イタリア製のマシンでつくられた【ソフトクリーム】も美味しい! ワッフルコーンとカップがありますが【王子のおすすめはカップ】



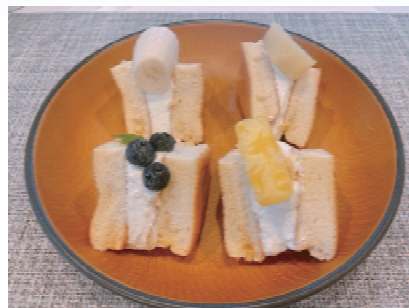
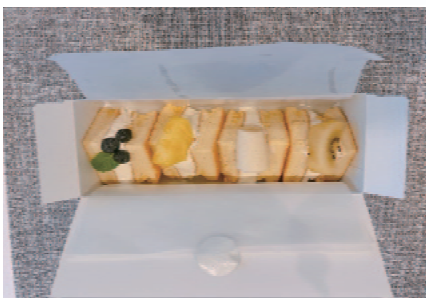
椿さんど (つばきさんど)

中央区大通西23丁目1-14

王子の一言

12/1 ポールタウンにもオープンしました!

- ① 今年3月にオープンしたテイクアウト専門店。パンケーキで人気の【椿サロン】の姉妹店。
- ② 道産の小麦・卵・てんさい糖を使い焼き上げたホットケーキ。
- ③ ふわふわのホットケーキに、甘さ控えめの生クリーム。軽い食感で何個でも食べられちゃいます! 住んでいる場所によっては【Uber Eats】でも注文出来ます!



令和2年度 第1回乳幼児研修会報告



お招きして『重大事故を防ぐ園環境について』というテーマで講演をしていただきました。仕事後の研修にもかわらず、72名のみなさんが意欲的に学びに参加してくださいました。

猪熊先生のお話

「保育でいちばん大切なことは、子どもの“いのち”を守ることであり、“いのち”を守るとは、子ども一人ひとりの存在を大切にすることである」

- ・一人ひとりの違いを認め、ていねいに寄り添う教育が、安全には最も重要である。
- ・安全を確保するためには、子どもと保育者との信頼関係が大切である。
- ・重大事故は、誰か一人のせいで起きることはまずない！
- ・日頃どんな保育をしているのか、園の組織作りがしっかりできているかを確認し、人と人との繋がりで事故は未然に防ぐことができる。

令和2年度 第1回乳幼児研修会が、10月2日(金)18時から、『かでの2.7』の8階研修室にて行われました。今回は講師に、ジャーナリストであり名寄市立大学特命教授及び一般社団法人子ども安全計画研究所代表理事の猪熊弘子氏と、弁護士であり子ども安全学会理事及び保育安全推進協議会設立理事の寺町東子氏を

左記の内容を、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育保育要領の中の「養護」に掲げられているねらいに沿って、事例を交えながら、わかりやすく解説していただきました。

寺町先生のお話

「死亡事故や後遺障害が残るような事故は絶対に防ぎたい！」

○事故の発生防止（予防）のための取り組み

- ・園で事故が起きた時は、自己判断しないこと。救急搬送・医療受診を躊躇しないこと。
- ・自分の頭で考える力を培い、職員全員で安全な環境を作り、子どもを理解し、一人ひとりの予測能力を高めること。➡チームワークの強化
- ・子どもが主体的に伸び伸びと遊ぶことと安全が両立できる環境を作る。
- ・子どもの様子が「いつもと違う」を察知して、すぐに対処し、重大事故を未然に防ぐ。
- ・くう・ねる・みずあそび（食う・寝る・水遊び）での事故発生率が高い。
- ・教育・保育施設における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドラインを自園でのマニュアルを作るための資料として使おう。

たくさんの事例の中には胸が痛くなる事故があり、子どもの“いのち”と“えがお”を守るために、私たちは日々、安全な環境作りを実践しなければならないと強く思いました。

猪熊先生、寺町先生お二人の息の合ったお話に魅了され、たくさん学ばせていただいた、充実した二時間でした。



連 合 会 日 誌

札幌市私立幼稚園連合会の主な動き
(予定を含む)

- 10月2日(金) 乳幼児研修会（かでの820研修室）
10月8日(木) 広報委員会
10月19日(月) 特別支援教育研修②（かでのホール）
11月5日(木) 総務委員会、理事会
11月9日(月) 振興委員会プロジェクト会議
11月12日(木) 札幌市私立幼稚園振興議員連盟との懇談会（札幌市役所議員会議室）
11月26日(木) 札幌市への予算要望書手交式（札幌市役所市長会議室）
11月30日(月) 札幌幼児教育セミナー → **延期**
12月4日(金) 特別な教育的支援を必要とする幼児の支援担当者研修 → **課題の提出に変更**
12月8日(火) P連研修会（札幌ガーデンパレス・オンライン配信）
12月8日(火) 総務委員会、理事会、養成校懇談会（札幌ガーデンパレス）
12月15日(火) 研究委員会
令和3年
1月13日(水) 初任段階における研修「理論・実践研修2」 → **オンライン配信に変更**
1月14日(木) 初任段階における研修「理論・実践研修2」 → **オンライン配信に変更**
1月15日(金) 初任段階における研修「理論・実践研修3-2（2年次）」 → **オンライン配信に変更**

- 1月18日(月) 永年勤続表彰、新年交礼会（札幌ガーデンパレス）
→ **中止**
1月20日(水) 総務委員会、理事会
2月5日(金) リーダー“力”スキルアップ講座（エルプラザホール）
3月1日(月) 総務委員会、理事会、設置者・園長研修会、臨時総会（札幌ガーデンパレス）

【令和3年度の主な予定】

- 4月23日(金) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会運営委員会（京王プラザホテル札幌）
5月21日(金) 総務委員会、理事会、設置者・園長研修会、定時総会（札幌ガーデンパレス）
7月8日(木) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会札幌大会（京王プラザホテル札幌）
9月20日(月・祝) 就職フェア（札幌ガーデンパレス）
9月24日(金) 教育研究大会 公開保育研究・分科会
～25日(土) 教育研究大会 全体会（札幌市民ホール）
12月14日(火) 総務委員会、理事会、養成校懇談会（札幌ガーデンパレス）
1月17日(月) 永年勤続表彰、新年交礼会（札幌ガーデンパレス）
2月28日(月) 総務委員会、理事会、設置者・園長研修会、臨時総会（札幌ガーデンパレス）



新しいライフスタイルが定着し始め、就職フェアも通常とは違った形で実施し、多くのご協力の元、終える事が出来ました。いつも以上に不安な気持ちを抱えている中、少しでも学生の方々にとっての“未来への扉”になっていることを願います。

話は変わって、就職に関わる記事に興味深い内容がありました。『AI（人工知能）で面接者の笑顔を採点して、採用の評価基準とする採用活動を始めた。保育士の離職理由の上位に人間関係が入っていることから、人材定着の切り札として笑顔に着目した。』との内容で

した。AIは様々な分野に導入されていますが、雇用の面にも取り入れられていることに驚きを感じました。暗い話題が多い中笑顔はとても大事であるということもあり、改めて重要さを感じます。と同時に、意識をしなくても大好きな子どもたちと接して湧き上がる笑顔、子どもたちの成長を共有し合う中で生まれる笑顔等、自然に湧き上がる保育現場、職場環境でありたいと願うばかりではありますが、皆様はどの様に感じられたでしょうか。

さて、異例の一年間が終わろうとしております。2021年はより一層、心も体も“表情も”明るく、穏やかな日々が送れる事を願っております。

（広報委員・浜田 晴香）